平成24年５月17日

各　　位

会 社 名　　JALCO ホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　田辺　順一
（ＪＡＳＤＡＱ・コード 6625）
問合せ先
役　職・氏　名　管理本部長　大浦　隆文
電　話　　050－5536－9824

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年３月期（平成 23 年 10 月３日～平成 24 年３月 31 日）決算において特別損失を計上するとともに、平成 23 年 11 月 24 日に公表いたしました平成 24 年３月期の連結・個別業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．特別損失の発生について

（１）本社移転費用（連結・個別）

平成 24 年３月 30 日発表「本社移転に関するお知らせ」のとおり、当社グループは、平成 24 年４月末に本社移転を行っております。この本社移転に伴う固定資産除却損、移転費用等を特別損失として、連結決算において 13 百万円、個別決算において８百万円を計上する見込みとなりました。

（２）関係会社清算損（連結　会計上　純資産増減への影響なし）

当連結会計年度において、当社の連結子会社である JALCO ELECTRONICS MALAYSIA SDN. BHD.の清算が結了いたしました。これに伴い、為替換算調整勘定の取り崩しによる特別損失 98 百万円を計上する見込みとなりました。

ただし、当該為替換算調整勘定は、マイナス 98 百万円で計上されており、純資産の金額を減少させていましたが、清算結了に伴いそのマイナス分が除外され、純資産の金額が 98 百万円増加させることとなります。一方、上記のとおり、為替換算調整勘定の取り崩しは会計上特別損失として計上され、当期純損失として利益剰余金を減少させ、純資産の金額を 98 百万円減少させますので、「純資産の部」の中で、両者は相殺されることとなります。従いまして、当該特別損失は、会計上の特別損失であり、純資産の増減への影響はありません。

２．連結業績予想の修正及び修正理由

平成 24 年３月期通期連結（平成 23 年 10 月３日～平成 24 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	８０３	△６８	△６８	△９０	△12 円 78 銭
今回修正予想（B）	７４７	△２７２	△２６９	△３８５	△51 円 17 銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△５６	△２０４	△２０１	△２９５	－
増減率（%）	△６．９	－	－	－	－
（注） 平成 23 年４月１日 ～平成 24 年３月 31 日	１，８９０	△５３４	△５７１	△６８６	△91 円 22 銭
（ご参考）前期実績 （平成 23 年３月期）	３，９１６	△２８９	△３７１	△２０７	△５円 94 銭

連結売上高は、当初予想を 56 百万円下回り７億 47 百万円となる見込みです。これは主に、当社グループが営む電子機器用部品製造業の主たるマーケットである AV 家電市場が、デフレの進行による最終製品価格の下落と安価なデジタル電子部品を製造するアジア企業の台頭により、厳しい競争に晒されているこ

とから、当初予想時から売上高の減少を織り込んでおりましたが（平成 24 年３月期第２四半期連結累計期間売上高実績 11 億 42 百万円）、収益構造の改善を目的として、採算性を最優先としての取引の取捨選択を進めたことなどにより、さらに受注が減少したことによるものであります。

連結営業損失は、当初予想を２億４百万円下回り２億 72 百万円、連結経常損失は、当初予想を２億１百万円下回り２億 69 百万円となる見込みです。これは主に、売上高の下ぶれに加えて、採算性を最優先としての取引の取捨選択、生産地の最適化及び固定費の削減並びに変動費化などに注力したものの、急激な円高の進行や原材料価格の高騰の影響を吸収できなかったことによるものであります。

連結当期純損失は、当初予想を２億 95 百万円下回り３億 85 百万円となる見込みです。これは主に、経常損益の下ぶれに加えて、「１．特別損失の発生について」のとおり、本社移転に伴う本社移転費用 13 百万円、マレーシア子会社清算結了に伴う関係会社清算損 98 百万円を各々特別損失として計上したことなどによるものであります。

（注）当社は、平成 23 年 10 月３日に単独株式移転により株式会社ジャルコの完全親会社として設立されました。従いまして、当社の第１期事業年度は平成 23 年 10 月３日から平成 24 年３月 31 日までとなります。しかしながら、連結計算書類は、ジャルコの連結計算書類を引き継いで作成しておりますので、連結計算書類における当連結会計年度は、平成 23 年４月１日から平成 24 年３月 31 日までとなります。

平成 24 年３月期の当社連結業績は、売上高 18 億 90 百万円、営業損失５億 34 百万円、経常損失５億 71 百万円、当期純損失６億 86 百万円となる見込みであります。

３．個別業績予想の修正及び修正理由

平成 24 年３月期通期個別（平成 23 年 10 月３日～平成 24 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	７８	１２	１２	１２	１円 70 銭
今回修正予想（B）	６７	△４	△３	△１１	△１円 47 銭
増減額（B－A）	△１１	△１６	△１５	△２３	
増減率（%）	△１４．１	－	－	－	－

個別売上高は、前回予想を 11 百万円下回り 67 百万円となる見込みです。これは主に、子会社から収受する経営支援料を当初予想時の計画数値より減額したことによるものであります。

個別営業損失は、当初予想を 16 百万円下回り４百万円、個別経常損失は、当初予想を 15 百万円下回り３百万円となる見込みです。これは主に、売上高の下ぶれに加えて、平成 23 年 12 月 22 日付発行決議を基に行った新株式及び新株予約権の発行において、当初予想時の計画数値を上回る費用が発生したことなどによるものであります。

個別当期純損失は、当初予想 23 百万円下回り 11 百万円となる見込みです。これは主に、経常損益の下ぶれに加えて、「１．特別損失の発生について」のとおり、本社移転に伴う本社移転費用８百万円を特別損失として計上したことなどによるものであります。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表時現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご理解ください。

以　上